



学校だより NO. 12
令和2年 3月18日(水) 発行
大町市立仁科台中学校
TEL: 22-1817
文責: 永田 治 (教頭)

ご卒業おめでとうございます ~学校長式辞~

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配され、このような卒業式を行うこととなりました。心苦しい思いはありますが、精いっぱい気持ちをこめて、準備をさせていただきましたことをご理解賜りたいと存じます。本日は、開校以来53回目となる仁科台中学校の卒業証書授与式に、ご多用の中、大町市副市長の吉澤義雄様、PTA会長の堀祐介様においでいただきましたことに、篤く御礼申し上げます。

117名の卒業生の皆さんは、三年間の中学校生活と、九年間の義務教育を終え、次の舞台に飛び立とうとしています。皆さんの輝かしい未来を祝福します。おめでとうございます。

平成29年4月、今と同じこの場所で皆さんは、新しい仲間と先生方と出会いました。あれから三年間、皆さんは友人や先生たちとの思い出深い日々を重ねながら成長してきました。

とりわけ今年度は学校のリーダーとして様々な場面で最上級生らしい姿を全校に示してくれました。生徒会、部活動、蓮華祭、学校行事、日々の授業。その一つひとつが本校の令和の時代の幕開けとして歴史を彩るにふさわしい姿勢、態度であったと確信しています。仁科台中学校3年間の学びで得た自信と誇りを胸に抱き、日本中の同年代の人々と共に未来を築いていくことを期待します。

4月1日から、皆さんは仁科台中学校の生徒でなくなります。一人ひとり、それぞれの所属をもち、一人ひとり、117人が全て違った人生を、未来を歩み始めます。117通りの人生です。117通りの未来です。

自分の人生や未来を創り上げていくのは自分しかいません。今、みなさんの未来のことは誰にもわかりません。みなさんがどんな大人になるのか。どんな仕事に就くのか。どんな人と歩むのか。わからないからこそ、格別な意味があります。仁科台中学校で創り上げた思い出の数々を宝物として心に留め置き、再び新しい自分を創り始めてください。

保護者の皆様にひとこと申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に卒業の日を迎えることができたのは、それぞれのご家庭でかけがえのないお子様に、手塩をかけて育(はぐく)んでこられた皆様のおかげでございます。思春期の難しい年代を、時には本気でぶつかり合い、時には励ましながらの中学校三年間。ご家庭の力で一人ひとりが素晴らしい成長を遂げることができました。今後は、更にお子様を見守っていただくと共に、彼らの母校、仁科台中学校に、より一層のご理解、ご協力を賜(たまわ)りますよう、心よりお願い申し上げます。

本日は、式には参加されなくとも、これまで卒業生を様々な場面で温かく励ましてくださった地域の皆様にも感謝を申し上げ、式辞といたします。

令和2年 3月18日 大町市立仁科台中学校長 興 幸雄

お世話になりました ~年度末転退職員~

それぞれ本校での勤務は長短がありましたが、保護者の皆様には大変お世話になりました。今後もそれぞれの場所で精一杯努力してまいります。ありがとうございました。

職員氏名	異動勤務先など	職員氏名	異動勤務先など
河西 明	茅野市立東部中学校	小林さや香	大町市立美麻小中学校
高橋 学	安曇野市立穂高東中学校	寺島 道男	退職
中山 博子	大町市立第一中学校	吉澤 昌宏	安曇野市立堀金小学校
小島 一生	信州大学教職大学院(本校在籍)		